令和６年度　道徳教育全体計画

宮城県気仙沼高等学校定時制

関係法令

日本国憲法、教育基本法、学校教育法

校訓

究理創造　和親協同　至誠励業

学校の教育目標

・新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的な能力の啓発に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
・心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
・地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し活躍する人材を育成する。

道徳教育の重点目標

・基本的生活習慣を確立し、心身の調和ある生活の実現に努めさせる。
・高い規範意識と他者を思いやる豊かな心を持つ生徒を育成する。
・高い公共心を持ち自己の在り方生き方を考えることができる生徒を育成する。

学年の重点目標

一学年	・基本的な生活習慣を身に付け、高校生として自覚ある行動をとれるようにする。 ・お互いの人格を尊重し、思いやりや規範意識を醸成する。
二学年	・集団の中で、お互いを認め合い協力する態度を育てる。 ・自ら考え責任ある行動がとれるようにする。
三学年	社会の一員としての自覚のある行動を理解し、実践する態度を身に付ける。
四学年	自己実現をはかり、よりよい人生観・価値観を形成し、国家社会の一員としての自覚を持たせる。

総合的な探究の時間

・自己理解を深め、将来の人生を切り拓くための進路学習（キャリア学習）に取り組む。ワークショップを通じて他人との関わり方を身に付け、コミュニケーションスキルを高める。
・問題解決や探究活動を通じて、他者と協同しながら問題を解決するとともに、言語活動を通じてまとめたり表現したりする能力を養う。

特別活動

ホームルーム活動
ホームルーム集団において、生徒相互間の人間関係を密にするとともに、生徒の自発的な活動を支援する。集団の一員として責任を持って行動する態度を養う。
生徒会活動
学校の一員としての自覚を持ち、自己の役割や責任を果たそうとする態度を育てる。
学校行事
公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的な態度を育てる。

各教科・科目の目標

国語	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して適切に表現したり、的確に理解したりして相互伝達・相互理解をすすめていく能力を養う。
地歴公民	我が国や世界の歴史・文化について認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的・平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。
数学	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、見通しを持ち、筋道をたてて考える能力を養う。
理科	自然の事象・現象について観察、実験などを行うことで自然に対する関心や探究心を高め、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
保体	身体活動を通して心身の健全な発達をはかるとともに、集団活動の中でルールや他者との関わりを学び社会に適応できるような態度を養う。
書道	書の創作活動を通して、美しいものに感動する心、わが国や郷土の歴史及び文化・伝統を愛する心を育てる。
英語	広い視野を持ち、国際感覚や国際協力の精神を育成するとともに、外国の言語や文化に対する理解を深め、その違いを受容する心を養う。
家庭	家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解させるとともに、男女が協力してより良い家庭や地域社会を築いていこうとする態度や実践力を養う。
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報化の進展に、モラルやマナーを守り、主体的に対応できる能力と態度を養う。

地域の実態，社会の要請，生徒の実態，保護者や教職員の願い

・就職を主としながらも、多様な進路希望がある中で「進路希望が達成できる学校」としての期待が大きい。
・学校生活と社会生活の両面から、品格や人間性を磨き、基本的生活習慣の確立を心掛け、明るく有意義な毎日を送ってほしいと願っている。
・地域に貢献できる人材となって社会に貢献して欲しい。

異校種との連携

特別支援学校でのボランティア活動などを通して、奉仕の精神や地域・社会の発展に寄与する実践力を育成する。

道徳教育の推進体制

教務	授業規律の確立に努め、挨拶や時間厳守等のマナー指導を徹底させる。道徳教育の視点も取り入れた教育計画を作成する。
生徒指導	通年の部活動・学校行事・生徒会活動等に主体的に取り組ませ、リーダーシップ・フォロワーシップの精神を涵養する。
進路指導	望ましい勤労観や職業観・社会観を身に付け、社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を身に付けられるよう指導を行う。
総務	式典への参加意義や所作の確認を行い、社会人になるに当たってのマナーやルールを身に付けさせる。

特色ある教育活動や体験的活動との関連

アルバイト、インターンシップ、ボランティア等によって、仕事や地域への奉仕活動等をすることを通じて、地域に貢献できることを体感し、達成感を得たり、社会人としてのコミュニケーション能力の育成を目指していく。

環境の整備や生活全般における指導の方針

・教室内外の環境美化に努め、豊かな心を育む環境を整える。（清掃活動の充実、掲示物の工夫・整備など）
・施設、設備の安全と維持に努める。
・図書室やコンピューター室を充実させ、読書活動や調べ活動を推進する。

部活動

集団活動を通して，規律ある生活態度や集団における自己の役割や責任を自覚し，互いに協力することのできる能力を育成する。

家庭・地域との連携

地域での就業体験を通して、職業観・勤労観を育成し、社会におけるマナーやモラルの意識向上を図る。